



涌小通信

知内町立涌元小学校

〈学校教育目標〉

よく考える子 思いやりのある子 健康な子

重点教育目標「粘り強く学び 最後までやり切る心をもった子供の育成」

令和4年9月30日発行

「命を守る」

教頭 伊藤孝之

最近、朝夕めっきりと涼しくなりました。日によっては、肌寒さを感じる朝もあり、秋の深まりを感じます。

さて、今年も9月21日から30日までの10日間、「秋の全国交通安全運動」が実施されました。

今月の朝礼では、警視庁から発表されている令和4年度上半期の子供の交通人身事故発生状況等を基にクイズを出し、「自分の命を守る」という話をしました。

(第1問)

子供の交通事故で、いちばん多いのは、どんな子の交通事故でしょう。

- ・幼児 ・小学生 ・中学生

☆ 答えは「小学生」です。

(第2問)

子供が交通ルールを破って交通事故が起きたとき、いちばん多い原因はどれでしょう。

- ・飛び出し ・信号無視 ・横断歩道ではないところを渡った ・道路で遊んでいた

☆どれも交通事故の原因になっていますが、いちばん多かったのは「飛び出し」、つまり、安全かどうかを確かめないで急に車道に出たということです。

(第3問)

ドライバーが交通違反をして交通事故が起きたとき、いちばん多い違反はどれでしょう。

- ・信号無視 ・一時不停止 ・ハンドルやブレーキの操作ミス ・安全不確認

☆いちばん多かったのは、「安全不確認」です。

第2問と第3問の答えから、交通事故を防ぐには、「安全かどうかを確かめる」ことが大事だとわかります。安全確認をするということは当たり前のような気がします。しかし、思い込みや習慣的な行動が、安全確認を怠ることにつながるのだそうです。そのため、クイズの後に、「自分の命を守るために」次のことを伝えました。

「いつも車が来ないから大丈夫」と思わずに、本当に車が来ないかしっかり確かめる。

「きっと車が止まってくれる」と思わずに、車が止まってくれるまで待つ。

「前の人が渡ったから大丈夫」と思わずに、本当に大丈夫か自分の目で確かめる。

交通事故に限らず、火災や自然災害などから身を守ることも大事です。学校では、「自分の命を守るために自分でしっかりと安全を確認し、判断して行動すること」を継続して指導してまいります。

PTA 研修部のお母さん方には、9月20日から22日までの3日間、交通安全街頭指導として、子供たちの安全な登校のためにご協力いただきました。ありがとうございました。また、見守り隊の皆様にも、毎日子供たちの登校を見守っていただいていることに感謝申し上げます。今後も、保護者、地域、学校が一体となって子供たちの安全を守るとともに、安全意識・防災意識、そして自分の命を守ろうとする意識を高めていきたいと思っております。今後とも、ご協力をお願いいたします。